



輝け!未来

おおさわ・みおう

大澤 実桜さん  
牧之原中3年 牧之原区

## 患者さんの気持ちに寄り添い、心と身体の健康をサポートできる看護師になりたい

「看護師になりたい!」そう決心したのは中学2年生の時です。コロナ禍で献身的に働いている看護師さんのニュースを見て、私も人の命に関わる仕事に就き、牧之原市の地域医療に貢献したいと思いました。患者さんの気持ちに寄り添い、心と身体の健康の回復をサポートできる看護師になりたいです。

▼9月30日をもって、8月20日から続いていた「緊急事態宣言」期間が終了しました。この期間中、市内では新型コロナウイルス感染症の陽性者が200人以上確認され、1日に20人以上となる日も。その日の夕方に県から提供される陽性者数などの情報を確認し、ホームページや「市LINE公式アカウント」「まぎのはらTeaメール」で情報を発信する、という日々が、日常となってしまうようになりました▼一方で、6〜7ページに掲載しているように、新型コロナウイルスの接種は順調に進み、11月上旬までに、対象者の8割近い人の2回目接種が完了する見込みです▼残念ながら、「ワクチンを接種したから安心」とはなりそうもありません。しかし、これまでの経験を生かし、感染防止対策との折り合いをつけながら、コロナ禍前の日常を少しずつ取り戻していければと思います。



ペンを置いてー編集幸記